



飯山市
プレスリリース

飯山市役所 総務部 事業戦略室 情報政策係
住所：飯山市大字飯山 1 1 1 0 - 1
Tel：0269-62-3111（内線 387） Fax：0269-62-5990
E-mail：senryaku@city.iiyama.nagano.jp

令和元年 1 2 月 2 7 日 発信

報道関係者 各位

鳥取・飲食店経営者様より飯山市へ義援金を お届けいただきます

今回の台風 19 号災害にあたり、鳥取県をあげて飯山市に支援を頂いているところですが、同県内で飲食店を経営する「ぎんりんグループ」（鳥取市・村上亜由美社長）様より、被災農家支援のため、市内農家から購入された坂井芋（県伝統野菜）をつかった「いも煮」の売り上げを、飯山市にご寄付いただけることとなりました。

記

日 時 令和元年 1 2 月 3 0 日（月）午前 1 0 時 0 0 分より

場 所 飯山市役所 3 階 応接室

出席者（予定）

ぎんりんグループ（村上社長ご夫妻）、飯山市長、市経済部長

その他 添付ファイル（日本海新聞写し）参照

<担当課>

飯山市 経済部 農林課
（課長）江尻 浩和（担当者）春日直樹
住 所：飯山市大字飯山 1110 番地 1
電 話：0269-62-3111（内線 264）
ファクシミリ：0269-62-6221
電子メール：nourin@city.iiyama.nagano.jp

「いも煮」で被災農家支援

台風19号 鳥取の「ぎんりんグループ」 長野・飯山の特産品購入



長野県飯山市のサトイモ。いも煮などとして提供される＝18日、鳥取市賀露町西3丁目の海陽亭

台風19号で被災した長野県飯山市の農家を支援しようとして、飲食店経営のぎんりんグループ(鳥取市、村上亜由美社長)が、飯山市の特産品でサトイモの一種「坂井芋」約110キを購入し、店舗での活用を始めた。「いも煮」の販売も行い、食を通じた支援の輪を広げる。

飯山市は台風19号で市内を流れる皿川が氾濫。床上18戸に上った。増水した千曲川の河川敷にあった畑には約30センチの土砂が堆積し、収穫を控えた坂井芋も分厚い泥の下に埋まった。10月下旬に同市でボラン

ティア作業を行った鳥取市の建設会社が惨状を目の当たりにし、東日本大震災でも支援を続けてきた同グループに相談。村上社長は「復興に貢献できるのなら」と支援を決めた。

坂井芋は飯山市坂井で栽培されるサトイモの在来種で、粘りが強く味が濃いのが特長。

令和元年11月22日
日本海新聞

米子市で
金活用委
江文化セ
同市出身
胞研究所
也教授II
性幹細胞
可能性に

戸口田教授はFOP(進行性骨化性線維異形成症)患者由来のiPS細胞から骨化の原因となるタンパク質「アクチビンA」を特定し、抑制する薬「ラパマイシン」を使って治験を実施。多くの人に使ってもらえるよう4種類のiPS細胞が作られ、日本人の約4割に適合している。

講演では、将来的に全ての人に適合する次世代iPS

iPS細胞研究の戸口田教授が講演

24日に道の駅神話の里白うさぎ(鳥取市白兔)で開く催しで、「いも煮」として1杯300円で販売。同グループの飲食店でも、炊き合わせなどの料理で提供される。いも煮の売り上げが特長。

は全額、被災地に寄付する。村上社長は「天災はどこにでもやってくる。坂井芋を食べて被災地に思いをはせ、自身の備えにもつなげてほしい」と思いを込める。(佐々木駿)

